

汚染水等構内溜まり水の状況（2016.6.29時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
1-1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	10m盤に存在する建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs134: <1.0E1 Cs137: 2.1E1 全β: 2.6E1 H3: 1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs134: 1.1E1 Cs137: 4.0E1 全β: 4.1E1 H3: 1.1E2 (2015.11.2)
1-2	2号機R/B	2号機R/B	10m盤に存在する建屋	降雨量により変動	[上屋] Cs134: 200~340 Cs137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr90: 10~20 H3: ND(<100) (2015.1.16)
2	5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約10,000 (2015.4.16時点)	Cs134: 26 Cs137: 65 Co60: 13 (2014.2.6)
3	5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約5000 (2015.4.16時点)	Cs134: 26 Cs137: 65 Co60: 13 (2014.2.6)
4	吸着塔一時保管施設(HIC)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	0 (ボックスカルバート内の水は拭き取り実施済み)	【No.172(AJ5)蓋外周部(他調査中)】 Cs134: 1.9E+3 Cs137: 6.8E+3 全β: 3.0E+6 (2015.4.2)
5	No.1ろ過水タンク (RO濃縮塩水/溶接タンク)	・No.1ろ過水タンク (RO濃縮塩水/溶接タンク)	屋外(35m盤)	約1(一部1cm残水あり)	【No.1ろ過水タンク】 Cs-134: 2.3E+03 Cs-137: 4.3E+03 全β: 6.6E+07 (2013.11.19)
6	4000tノッチタンク (角型タンク)	・4000tノッチタンク	35m盤タンクエリア	約900 (2015.6.30時点)	【3000tノッチタンク】 水抜き済 【1000tノッチタンク】 Cs134: 1.7E1 Cs137: 6.1E1 全β: 9.6E4 (2015.6.3)
7	濃縮水タンク (蒸発濃縮装置濃廃水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク (スラリー/濃縮水)	35m盤タンクエリア (Cエリア)	約85 (2015.6.9時点)	【蒸発濃縮装置濃廃水】 Cs134: 1.7E4 Cs137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)
8	淡水貯留タンク (G1エリア地下タンク)	・淡水貯留タンク (横置きタンク)	35m盤タンクエリア	約6000 (2015.4.16時点)	【淡水化装置出口水】 H3: 8.7E5 全β: 1.5E4 (2012.9.18)

汚染水等構内溜まり水の状況（2016.6.29時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
9	5, 6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	<ul style="list-style-type: none"> ・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・5号機逆洗弁ピット ・6号機逆洗弁ピット 	5, 6号機スクリーン近傍	(5号機吐出弁ピット) 約550 (6号機吐出弁ピット) 約850	【5号機吐出弁ピット】 (2015.10) Cs134 : 1.3 Cs137 : 4.8 【6号機吐出弁ピット】 (2015.10) Cs134 : 1.1 Cs137 : 5.6 【5号逆洗弁ピット】 (2015.10) Cs134 : 5.1 Cs137 : 2.4E+1 【6号逆洗弁ピット】 (2015.10) Cs134 : 4.3 Cs137 : 1.7E+1
10	1～4号機T/B屋根	<ul style="list-style-type: none"> ・1号機T/B ・2号機T/B 	10m盤に存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs134:250～740 Cs137:980～2700 全β:1400～6900 (2014.11.26) 【2号機T/B上屋】 Cs134:120～3000 Cs137:420～10,000 全β:500～29,000 (2014.12.1)
11	1号CSTタンク (溶接タンク)	・1号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	排水完了(2015.6.26) (残水あり)	Cs134:6.4E+5 Cs137:2.5E+6 全β:3.3E+6 (2015.3.23)
12	2号CSTタンク (溶接タンク)	・2号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約2260 (2015.6.17現在)	Cs134:1.7E+4 Cs137:5.7E+4 全β:4.2E+6 (2015.3.23)
13	3号CSTタンク (溶接タンク)	・3号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約2120 (2015.6.17現在)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 (2016.2.9) 2.4E+5 H3:3.8E+5 Sr90:ND 【CST貯留水】 (2015.7.16) ND Cs134:2.1E+3 Cs137:8.0E+3
14	4号CSTタンク (溶接タンク)	4号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約2000	【プラント復水】
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	35m盤タンクエリア	一※ (2016.4)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β:1.2×10 ⁶ 1.1×10⁶ (2016.3.25) (2016.5.27) (参考:漏えい検知孔水) 全β:1.6×10 ⁵ 2.4×10⁵ (2016.5.24) (2016.6.27) H3:1.2×10 ³ 6.4×10³ (2016.5.18) (2016.6.22)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	35m盤タンクエリア	約1390 (2016.4)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β:1.3×10 ⁶ 1.8×10⁶ (2016.3.25) (2016.5.27) (参考:漏えい検知孔水) 全β:4.5×10 ⁴ 9.5×10⁴ (2016.5.18) (2016.6.22) H3:3.8×10 ³ 2.3×10³ (2016.5.4) (2016.6.1)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	35m盤タンクエリア	約150 (2016.4)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β:6.2×10 ⁶ 4.3×10⁶ (2014.6.13) (2016.5.27) (参考:漏えい検知孔水) 全β:3.7×10 ⁴ 1.1×10⁵ (2016.5.19) (2016.6.27) H3:3.1×10 ² 2.3×10³ (2016.5.5) (2016.6.2)

※:水位計の計測限界水深未満(残水あり)

汚染水等構内溜まり水の状況（2016.6.29時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	35m盤タンクエリア	—※ (2016.4)	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 —
19	地下貯水槽	地下貯水槽No. 5	35m盤タンクエリア	—※ (2016.4)	【使用実績なし(水張試験のみ)】 —
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	35m盤タンクエリア	約120 (2016.4)	【RO濃縮水貯水実績あり】 — (参考:漏えい検知孔水) 全β:ND (2016.5.19) ND (2016.6.23) H3:ND (2016.5.5) ND (2016.6.2)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	35m盤タンクエリア	約90 (2016.4)	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 —
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト ・4号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約1~1200 (2015.10~2016.1) 約1~310 (2014.12~2015.1)	Cs134:2.6E1~6.4E4 ND~4.0E2 Cs137:8.6E1~2.1E5 2.6E1~1.7E3 全β:5.6E1~2.9E5 4.9E1~2.8E3 H3:ND~7.9E3 ND~6.5E2 (2014.12~2015.1) (2015.10~2016.1)
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1600 (2015.11) 約1600 (2014.12)	Cs134:6.1E2 5.8E2 Cs137:1.9E3 2.4E3 全β:2.2E3 2.2E3 H3:2.0E2 ND (2014.12) (2015.11)
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約3000	Cs134:1.0E1 1.3E1 Cs137:4.4E1 9.5E1 全β:5.5E1 9.9E1 (2016.5.11) (2016.6.1)
24-2	2号機海水配管トレンチ	・2号機海水配管トレンチ	2号機タービン建屋海側	0 (2015.6.30時点)	—
25-1	3号機海水配管トレンチ	・3号機海水配管トレンチ	3号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.7.30時点) (注)立坑D上部を除く	【立坑D】 Cs134:5.6E5 Cs137:1.9E6 全β:4.2E6 H3:1.5E5 (2015.2.27)
25-2	4号機海水配管トレンチ	・4号機海水配管トレンチ	4号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.12) (注)建屋接続部及び建屋接続部近傍の開口部を除く	— Cs134:7.5E4~1.4E6 Cs137:2.6E5~4.7E6 全β:3.9E5~6.8E6 H3:2.8E3~2.1E4 (2015.4)
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約690 (2015.11) 約750 (2014.12)	Cs134:1.6E2 2.3E2 Cs137:5.3E2 9.7E2 全β:8.1E2 1.3E3 H3:1.3E2 ND (2014.12) (2015.11)
27	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	・廃棄物処理建屋間連絡ダクト	プロセス主建屋北側	0 (2016.6) 約230 (2016.2)	—
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防炎用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約7~820 (2015.10~2016.1) 約1~800 (2012.2)	Cs134:1.9E1~1.2E4 ND~2.2E2 Cs137:5.0E1~1.5E4 ND~9.2E2 全β:6.8E1~2.6E3 5.1E1~1.4E3 H3:ND~2.1E2 ND~3.1E2 (2012.1~2015.2) (2015.10~2016.1)

※:水位計の計測限界水深未満(残水あり)

汚染水等構内溜まり水の状況（2016.6.29時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
29	1～4号機サブドレンピット No.15,16(未復旧ピット)	・サブドレンピットNo.15,16	1～4号機周辺 「未復旧」	約20m ³	No.16 Cs134:1.4E5 Cs137:7.8E5 全β: 7.7E5 H-3: 4.3E3 (2016.4.25)
30	その他1～4号機サブドレン(ディー プウェル含む)(未復旧ピット)	・1号機～4号機サブドレン	1～4号機周辺 「未復旧」	約15/ピット	No.47,48 Cs134:ND～3.9E1 Cs137:4.8E1～9.6E1 全β:7.9E1～2.8E2 H-3:ND (2014.11.10)
31-1	1～4号機逆洗弁ピット	・1号機逆洗弁ピット ・2号機逆洗弁ピット ・3号機逆洗弁ピット ・4号機逆洗弁ピット	1～4号タービン建屋海 側	(1号機逆洗弁ピット) 約200 (2016.5.23) (2号機逆洗弁ピット) 約900 (2016.5.23) (3号機逆洗弁ピット) 約1300 (2016.5.23) (4号機逆洗弁ピット) 約1200 (2016.5.23)	(1号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:4.4E3 Cs137:2.5E4 全β: 2.9E4 H3: 2.6E2 (2号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:1.4E2 Cs137:8.0E2 全β: 9.3E2 H3: ND (3号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:2.4E3 Cs137:1.2E4 全β: 1.5E4 H3: 5.3E2 (4号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:2.3E2 Cs137:1.2E3 全β: 1.3E3 H3: ND
31-2	1-4号機吐出弁ピット	・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ピット ・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ピット	1～4号タービン建屋海 側	【1号機吐出弁ピット】 0 (2015.11) 【4号機吐出弁ピット】 0 (2015.10)	【1号機吐出弁ピット】 — 【4号機吐出弁ピット】 —
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1～4号タービン建屋海 側	約3800	【放水路上流側立坑】 (2016.5.23) (2016.6.27) Cs134:1.8E2 2.6E2 Cs137:7.6E2 1.4E3 全β:1.0E3 1.8E3 H3:ND ND
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2-4号機タービン建屋 海側	約3000	【放水路上流側立坑】 (2016.5.23) (2016.6.27) Cs134:4.1E2 6.2E2 Cs137:2.1E3 3.2E3 全β:4.2E3 4.4E3 H3:1.8E2 ND
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3-4号機タービン建屋 海側	約600	Cs134:2.6E2 Cs137:1.1E3 全β:1.7E3 H3:9.0E2 (2015.6.10)
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4500	Cs134:7.2 Cs137:23 I-131:<4.3 Co-60:<4.2 全γ放射能:3.1E+1 (2014.5.23)
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約1000	Cs134:ND Cs137:ND Co60:1.922E+01 (2015.6.4)
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約1250	Cs134:ND Cs137:ND Co60:5.254E+02 (2015.6.16)
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5号機スチームドレン配管トレン チ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5～6号機周辺	約1～1900 (2015.10～2016.1) 約1～1200 (2012.2)	Cs134:ND～2.2E3 ND～2.2E2 Cs137:7.2E1～3.3E3 ND～9.9E2 (2012.1～2012.2) (2015.10～2016.1)

汚染水等構内溜まり水の状況（2016.6.29時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
39	5, 6号機サブドレン	・5,6号機サブドレンピット	5～6号機周辺 ※「復旧対象」	約15/ピット	Cs134: ND～0.34 Cs134: ND～0.95 全β: ND～2.6 H-3: ND～25 (採水期間: 2014.8～2014.11)
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs134: 1.0E+1 Cs137: 1.4E+1 Co-60: <6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)
41	SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2800 (2015.3.25時点)	Cs134: 8.0E+4 Cs137: 1.6E+5 Co60: 6.5E+2 (2013.8.27)
42	集中ラド周リサブドレン	・集中ラド周リサブドレン	主プロセス建屋等各建屋周辺	約15/ピット	Cs134: ND～53 Cs137: ND～130 全β: ND～240 H-3: 14～210 (採水期間: 2013.12.12～2013.12.19)
43	メガフロート	・メガフロート	港湾内	約8000	Cs134(2)、Cs137(5)、H3(ND)、 Co60(5)、全β 20 Bq/L (2014.9.19)
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(10M盤)	約850	Cs134: 2.1 Cs137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5～6号機	約6000 (2015.6時点)	【5号機】 Cs134(ND)、Cs137(2)、H3(132)、全β(ND) (2015.6.17) 【6号機】 Cs134(5.2)、Cs137(17)、H3(531)、全β(138) (2015.6.18)